

アイリス Letter

保護者の皆様へ

2021年2月27日発行
第8号
広島女学院中学高等学校



聖書のことば

いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。どんなことにも感謝しなさい。これこそ、キリスト・イエスにおいて、神があなたがたに望んでおられることです。

テサロニケへの信徒への手紙一 5章16～18節

3月1日に高校3年生の230名が卒業します。高3生の保護者の皆さま、お嬢様のご卒業、おめでとうございます。本校の教育にご理解とご支援を賜り、心から御礼申し上げます。

高3生の皆さん、中高6年間の歩みを終え、輝くように成長しましたね。卒業にあたり、高3生の皆さんには卒業礼拝にて「希望」ということばを贈ります。希望を持つために、日々の生活で大切にしてもらいたいことが、冒頭の聖句にある「喜び、祈り、感謝する」ことです。すっかりデジタル化した世の中で、今までなかなか難しかったつながりが生まれるなど、確かに恩恵も受けています。更に10年後には、デジタルとの付き合い方も更に多様化し、生き方も変わっていることでしょう。しかし、私が今強く思っていることは、今こそ人間本来の生き方、即ちもっと自然を大切にする生き方に戻ることが必要であり、今ならそれが可能だということです。人間を包み込む優しさを持つ自然ですが、時として私たち人間にとって厳しくもあります。しかし、自然が私たち人間に示してくれる無限のもの、美しいものに対し、喜び、祈り、感謝する。そうすることで人間は赦されて生きることができると思うのです。そのようにどこかゆったりとした未来にならないだろうかと考えたりもします。

さて、2学期末に生徒の皆さん、保護者の皆さまに学校評価アンケートを実施致しました。結果報告の概要に関するプリントをご確認頂ければと思いますが、保護者の皆さまの自由記述回答に学力の重要性に言及したものが散見されました。勉強にきちんと取り組み、確かな学力をつけるのは、基本的なことであり、これからの不確かな世の中を生き抜くには一層必要とされるものです。一方で、目先のことに捕われて急いで身につけたものは、失ってしまうのも一瞬です。職業も生き方さえも多様化する世の中であって、そこを生き抜く真の学力とは、自分だけが学ぶのではなく、「学ぶ、認める、つながる」ことによって培われます。そしてこのことは「喜ぶ、祈る、感謝する」ことを怠ると成就しません。

湊晶子院長先生が過去の卒業記念礼拝において、「教養を身につけた女性になりなさい。あなたたちが卒業して学校を去る時、あれこれ忘れてしまっても、残るものがあなたの教養です」ということばを下さいました。高3生の卒業にあたり、喜び、祈り、感謝する姿勢を忘れず、真の教養と学力を身につける歩みをしていってほしいと切に願っています。

(校長)



中学入試について

1月23日(土)中学入試が行なわれました。今年はコロナ禍で、無事、入試が行なわれるか大変心配しましたが、幸いにも無事終わることができました。特に中3・高2の生徒たちは入試準備で教室をきれいに掃除してくれ、気持ちの良い環境で迎え入れてくれました。受験生が安心して試験に臨めるよう働いてくれた生徒の皆さん、心から感謝します。

合格発表の後、2月6日(土)第1回新入生オリエンテーションで制靴やカバン等の購入、20日(土)の第2回オリエンテーションを終え、新入生はいよいよ4月7日(水)の入学の日を待つばかりとなりました。在校生の皆さん、新しい女学院生を笑顔で歓迎しましょう。

(中学教頭)

中学英語オラトリカルコンテスト

2月9日(火)に第45回オラトリカルコンテストが行われました。中1、2は暗唱を、中3とインターナショナル部門の生徒はそれぞれのテーマでスピーチを発表しました。今年は残念ながら3学年がホールに集まる事が出来ず、自分の学年の発表以外は教室でオンラインで視聴することになりました。しかし、各教室でも一人ひとりの発表の後には、拍手の音が鳴り響いていました。発表者はみな練習に励み、レベルの高い暗唱・スピーチを披露してくれました。進行役の中3の生徒たちも、コンテストを円滑に進め、また楽しいゲームでコンテストを盛り上げてくれました。受賞者は以下の通りです。

中1	1位	S. J	(1-3)	中3	1位	K. M	(3-5)
	2位	T. M	(1-2)		2位	N. K	(3-3)
	3位	T. M	(1-5)		3位	K. A	(3-4)
	敢闘賞	K. K	(1-4)		敢闘賞	E. H	(3-5)

中2	1位	K. R	(2-4)	インターナショナル部門	1位	Y. E	(3-1)
	2位	S. M	(2-5)		敢闘賞	N. A	(1-2)
	3位	M. E	(2-3)				

(英語科)

保健室だより (8)

三寒四温と季節の変化を感じる今日この頃です。

高3の皆さんは、高校生活の終わりに向けて次のステップへの準備をしていることでしょうか。体調管理は、一番のポイントです。しっかり食事をとり、栄養をつけて、ストレッチをしたり、深呼吸をしたり、体とところを鍛えて、最後までがんばってください。コロナ対策は、継続しています。石鹸による手洗い、うがい、換気、栄養、十分な睡眠と休息、体を動かすなどの基本を大切にしましょう。



(保健室)

心の健康（8）

いよいよ学年末の3月です。3月は前半が期末テスト、後半は春休み。状況がガラッと変わります。また今の学年が終わって新しい学年に進み、季節は冬から春へと移ります。

このように3月は半月ばで状況が変わり、1年を通してみると「変わり目」の時です。変わり目を境とした状況の変化は人にとって大いにストレスになります。

先日、あるお母さんから「学校のテストが終わった日に、子どもの好きなケーキを買って家族で食べるんですよ」というお話を伺いました。定例になっている楽しみだそうです。変わり目を上手に過ごす行事だと思いました。

「変わり目」はストレスがかかり、心が揺れるので切り替えの行動が必要です。また、まとめと準備の意味もありますので、節目をきちんと意識した生活は心の健康にとって大切なことです。実際のプランは各家庭に任されています。ひと工夫してみましょう。

（カウンセラー）

じょがく in LOVE

2月13日(土)に小学3・4・5年生対象の広報イベント「じょがく in LOVE」を開催しました。今年度は、「教室プログラム」・「ホールプログラム」・「校内探検（ウォークラリー）」の三部構成で行いました。教室プログラムでは、アイスブレイクなどの活動を女学院生と一緒に楽しみ、毎朝の礼拝体験や入試問題にチャレンジしました。ホールプログラムでは、新体操部による演技、生徒によるパイプオルガンの演奏、学校紹介動画などを楽しんでいただきました。

また、校長先生からのお話や、入試問題の解説を行いました。最後に校内探検（ウォークラリー）では、学校の色々な所を歩いて回ってスタンプを集めてもらいました。「探検途中に女学院のお姉さんに話しかけるといいことがある！」など、様々な仕掛けを準備していたので、小学校の皆さんはとても楽しそうにしていました。また、今回は同窓会の方々に、女学院グッズの販売もしていただきました。

この「じょがく in LOVE」は、プログラムの企画や進行などを、中学3年生から高校2年生の「女学院アンバサダー」の生徒達に手伝ってもらいました。動画の準備、当日の飾りつけや掃除、小学生への学校紹介やホールへの誘導、最後のあいさつまで、全て生徒がサポートしてくれました。小学生を前に、一生懸命活動する姿はとても頼もしかったです。イベント実施後のアンケートでは「女学院のお姉さん方の手作り感を感じることができ、あたた

かさを感じました。娘は食べた後のチョコの包み紙も大事に取っております。ありがとうございました」などの感想を頂きました。

小学3・4・5年生と保護者の方をあわせて400名近くの方に参加していただき、イベントは大盛況でした。サポートしてくれた生徒の皆さん、ありがとうございました。

（広報部）



高校生徒会執行委員 選挙結果

2月に行われた選挙によって、来年度新高1の生徒会執行委員は以下の5名に決まりました。先輩方と力を合わせ、来年度も生徒会行事を運営していきます。どうぞよろしくお願いたします。

K. S	(3-1)
K. H	(3-2)
O. H	(3-2)
T. M	(3-2)
A. R	(3-3)

(高校生徒会顧問)

ミニ体育大会

2月9日に高1、高2合同でミニ体育大会を行いました。例年は球技大会を行いますが、今年は高校グラウンドでミニ体育大会を開催しました。当日は晴天に恵まれ、気持ちのよい青空が広がっていました。競技は、台風の目、参勤交代、玉入れ、クラス対抗リレーの4種目を行いました。台風の目は、中学1年生以来でしたが、すさまじい勢いで回って、吹き飛ばされ



ながら、必死に棒にしがみついていた姿が印象的でした。参勤交代では、丁寧さよりもスピードを重視するクラスが多く、たくさんのお殿様が落下していました。玉入れは、レベルが高く、中には50秒間で60個を超えたクラスもありました。クラス対抗リレーは、各クラスの俊足が揃い、レベルの高い戦いでした。熱い応援もあり、盛り上がりました。激闘の末、見事優勝に輝いたのは、B組!! 準優勝は、A組でした!! 学年の壁を越え、クラスで団結して、久しぶりに思い切り身体を動かしたせいか、翌日は筋肉痛で苦しむ人たちが続出しました。すべてが私達の青春のアルバムの1ページとなりました!!



次こそは、女学院大学の広いグラウンドでマスクを外して盛り上がりたいです。企画・運営をしてくださった先生方、体育委員・HR委員の皆さん、イクナガ写場の方々、ミニ体育大会を支えてくださったその他多くの方々、本当にありがとうございました!

(高2・高1 HR委員)

生徒の活躍

◇第76回国民体育大会冬季大会スケート競技会

ショートトラック競技 少年女子 500m

第8位入賞 (48秒666) T. H (2-D)



今月の聖句

彼は軽蔑され、人々に見捨てられ
多くの痛みを負い、病を知っている。

イザヤ書 53 章 3 節

イザヤ書 53 章に登場する「苦難の僕」は、イエス・キリストのことが預言されているとキリスト教では考えられています。神様の愛を伝えるためにこの世に来られたイエスが、人から見下されたり見捨てられたりする痛みや、病の苦しみを、身をもって知っていて下さるというのは、私たちにとって大きな慰めになるのではないのでしょうか。上から目線でかわいそうにではなく、「わかるよ。私もそうだったから」と隣に立って下さる。

教会の暦では「イースター(復活節)」の6週間前の水曜日(今年は2/17)から「レント=受難節」に入ります。昨年のレントから、私たちはコロナの長い受難の時を歩んでいます。その歩みもまた、「病を知っている」イエスが共に歩んで下さっている。そしてイエス様がそうであったように、私たちにも、その痛みを通して、他者の痛みが分かるようになるようにと呼びかけられているような気がします。その先にこそ、「復活=新しい命の始まり」があるのだと。

(2月15日 中学放送礼拝

2月16日 高校放送礼拝より 聖書科 T.M)

3月の行事予定表

1	月	(高) 卒業礼拝 (中1・2・3、高1・2 休日)
2	火	
3	水	期末テスト(高2) 1限8:55~ 1~3限土曜授業
4	木	1限8:55~
5	金	期末テスト(高1) 1限8:55~ (中) 月曜授業
6	土	(中1・2・3) 1限8:55~15分休憩
7	日	
8	月	1限8:55~15分休憩 高2テスト返却 [高2NC] 公立大学中期日程開始
9	火	教科書販売(高1・2)
10	水	自宅学習日 新高2スタディーサポート
11	木	テスト返却 1限8:55~ 高2期末テスト素点確認 高2特別時間割 教科書販売(中3)
12	金	1限8:55~ 高2特別時間割 国公立大学後期日程入試開始
13	土	
14	日	
15	月	特別時間割 1限8:55~ 高2修学旅行
16	火	期末テスト素点確認
17	水	中3,高1ダンス発表 [NC] 中1・2個人写真
18	木	中3副教材販売
19	金	終業の日 (中) 卒業礼拝
20	土	春分の日 学び&体験フェスティバル
21	日	
22	月	高2補習
23	火	
24	水	中3研修旅行
25	木	
26	金	
27	土	
28	日	
29	月	
30	火	
31	水	

NC・・・ノークラブデイ

※行事予定は変更になることがあります。